

## 抜き取ったオオハンゴンソウの処置

特定外来生物であるオオハンゴンソウは、確実に防除するために焼却されることが多いのですが、焼却処分は運搬費、焼却費、人件費等お金もかかり、CO<sub>2</sub>増加等、環境には決して良いとは思われません。種差海岸では、市の文化財課、環境省の担当者に承諾を得て確認して貰いながら、異なる処分方法の試みを行っています。花はごみ袋に入れ、燃えるゴミとして出し、それ以外は1カ月ほど天日干しし確実に枯らして、状況を見極めながら腐葉土として抜き取った場所の凹みに戻しています。これまで、特に問題は起きていません。

### 一例



抜き取ったオオハンゴンソウ4, 756本



腐葉土にするため、広げて天日干し



天日干し1ヶ月後の状態（腐葉土として窪地に戻す）